



協 自 自
調 律 主

次代を担う若人

筑 西

久留米市立筑邦西中学校
学校だより 5-6号
令和5年 6月 8日
文責 校長 古賀 一英

河口 恵さん 「夢への挑戦」について語る

5月23日(火)6時間目、本校の第51回(平成22年度)卒業生の河口恵さんに「夢への挑戦」について講話をしていただきました。河口さんは、東京パラリンピックの女子マラソン視覚障がいクラスに出場した藤井由美子選手のガイドランナーを務め、5位に入賞しました。日頃は、三井住友海上九州本部に勤務しながら、福岡市大濠公園で同大会金メダリストの道下美里選手の練習パートナーとして練習に励んでおられます。



河口 恵選手

河口さんのお話の一部を紹介します。

- ・信頼関係を築くために心がけていることは、毎日の練習の振り返りの中で「ありがとう」や「ごめんね」という言葉を大切にし、お互いを高め合えるような声掛けを心がけている。
- ・東京パラリンピックで感じたことは、障がいを持っていることをマイナスとせず、自分の可能性を信じている人たちの集まりで、すごいエネルギーを感じることができた。自分が悩んでいることや言い訳をしていることがちっぽけに感じられた。
- ・自分は夢を実現させるために、短期、中期、長期の目標を立ててクリアしようとしている。夢を実現させる道のりには挫折することもある。そんな時は、少しでも自分ができたことを認めてプラスの気持ちにもっていくようにしている。

生徒たちの感想です。

- (1年) 恵さんの話を聞いて小さい目標をクリアしていき、小さな努力の積み重ねが自分の夢を叶えると聞いて私も一度挑戦したことはすぐには諦めずやり遂げて勉強や部活などに生かしていこうと思いました。
- (2年) 今日のお話を聞いて私も大きな目標を決めたいと思うことができました。素敵な出会いや明るい未来に期待して、夢へ挑戦するために私は今、一つでも多くの進路を獲得する力を一生懸命身につけて、将来どんなことも頑張り続けられる、失敗や挫折を繰り返しても諦めずに次のプランを考えられる人になりたいと思いました。
- (3年) うまく結果が出なくて悩んでいても、”諦めない”ということを大切に、私も勉強でわからない、で終わらせるのではなく、めげずにわかるようになるまで何回もといて諦めず極めて行こうと思いました。
- (3年) 僕はある先生の影響で「英語の先生になりたい!」と思うようになったので、河口さんと同じで人から夢を与えてもらった。河口さんのようにその目標に向かっていくつも短期の目標を作り達成して行って、短期の目標をすべて達成し終えたあとに長期の目標が達成できているように頑張りたいと思います。



陸上部
ブラインドランナー・ガイドランナー体験

河口さんの優しい言葉の中には、強い意志がありました。生徒たちにもたくさん伝わるものがあったことと思います。河口さんのこれからの夢は、パリパラリンピックにガイドランナーとして出場することだそうです。河口さんの夢、それから生徒たちの夢が叶うように、一緒に応援していきましょう。

教育実習を終えて

5月15日（月）～6月2日（金）の3週間で、本校卒業生の4名が教育実習を行いました。教育実習を終えてのメッセージを紹介します。

○鹿毛 理来さん（保健体育科）

私は中学生の時、部活動の方ばかりに力を入れており、勉強の方をおろそかにしてしまい、とても後悔しました。だから、皆さんには部活動も勉強も文武両道で頑張ってもらいたいと心の底から思います。3週間の教育実習期間で、私がよく1年4組に伝えていた言葉があります。それは、「面倒くさいことを後回しにしない」ということです。やるべきことがあったとしても面倒くさくて後回しにしてしまうのが人間です。しかし、ここで踏ん張ってやり抜くと、必ず自信に繋がり、より一層頑張ろうと思えるはずです。「まだ時間があるから大丈夫」などといった考えではなく、今、する時間があるのならば、しっかりと取り掛かって少しでも自信に繋げてほしいなと思います。よく先生方が、「時間を有意義に使いなさい」と言ってくれるはずです。時間は有限です。悔いのないよう、一日一日を大切に過ごしてほしいなと思います。教育実習生としてまたこの筑邦西中学校に戻ってくることができて、とてもうれしかったです。短い間ではありましたが、お世話になりました。楽しい時間をありがとうございました。



○高木 穂乃香さん（保健体育科）

私は中学2年生の頃、当時私の保健体育の先生が、運動やスポーツが苦手な子にわかりやすく説明している姿、先生自身が楽しそうにみんなと接している姿を見て、私も保健体育科の教師になりたいと思い始めました。この教育実習3週間を通して、教師の大変さを改めて感じるとともに、生徒の成長を間近で見ることができやりがいも感じました。早く教員になりたいという思いがより一層強くなり、とても充実した楽しい3週間でした。自分のしたいことを職業にできることはとても難しいことですが、後からあれをやっておけばよかったと後悔してもやり直すことはできません。校長先生がおっしゃっている「夢への挑戦」に向かって勉強に部活、たくさんの方にチャレンジして行ってほしいと思います。私も、教員を目指してこれからも頑張っていくので、皆さんもともに頑張っていきましょう。



○井手口 廉さん（保健体育科）

筑邦西中学校の生徒の皆さん、3週間という短い期間ではありましたが本当にありがとうございました。私から皆さんに「時間の使い方は、そのまま命の使い方なのですよ」という言葉を贈ります。これは渡辺和子さんという方が書いた「おかれた場所で咲きなさい」という著書に出てくる言葉です。授業を受け、友と仲良く会話をし、部活動をし、下校して、家庭での時間を過ごすこと、それが人生という長い時間、すなわち命の使い方と共通することです。皆さんは1日1日を大切に過ごしていますか？時間はいくらでもあるからと言って先延ばしにはしてはいませんか？3年生、受験まで時間があるという無駄に過ごしていたら、いつのまにかその日が来てしまいます。1, 2年生、1, 2年の時間なんてすぐに過ぎてしまいます！皆さん、今一度自分の一日の過ごし方を見直してみてください。後悔を残さない「命」の使い方にしてください。それが「夢の実現」につながるのだと私は信じています。今後の皆さんの活躍を楽しみにしています。



○園田 累斗（社会科）

筑邦西中学校のみなさん、3週間ありがとうございました。廊下ですれ違った時の元気の良い「先生、おはようございます」の声に、とても元気をもらいました。みなさんは、夢への挑戦をスローガンに日々頑張っていると思います。何事も挑戦するということはとても大事なことです。しかし、時には失敗して、落ち込んでしまうこともあると思います。そんな時はこの言葉を思い出して頑張ってもらいたい。「人生は短距離走ではなく長距離走です。」という言葉です。人生は長い道のりであり、仮に転んでしまったとしても後で追い上げることが出来ます。今回、テストでうまくいかなかった人もいます。しかし、そこで諦めるのではなく、次に向かって走り続けてください。その頑張り、努力がきっと報われるときが来るはずです。今後のみなさんの活躍を楽しみにしています。

